

熊さん、ご隠居さんの「雑司が谷談義」
 第三話 御鷹部屋 矢島勝昭

熊 「ちわあ、ご隠居さんばらく・・・。」
 隠居 「よおう、熊さんかい。どうしたい。」
 熊 「また雑司が谷の話でうかがったんですがねえ。なにか、こう、ちょっと自慢になるようなことを教えてもらえませんかねえ。」
 隠居 「そうだな。じゃあこういう話しはどうか。江戸の回りの森林や田畑は、徳川將軍の鷹狩りの場でもあってな、しかも、雑司が谷には鷹の飼育や訓練をする御鷹部屋や、その役人が住まう御役屋敷も、8代將軍徳川吉宗によって造られたという。將軍と鷹狩りにとって雑司が谷はとても縁の深い土地柄なんだ。」
 熊 「たしか、御鷹部屋は霊園の都電線路寄りだったと聞いたことがありましたけれど?。」
 隠居 「そう、約9千坪ほどもあってな。一方御役屋敷の方は番神通りの北の端れに造られた。云ってみれば番神通りはその両方を結ぶ通勤道路だった。行き交う侍たちを見守っていた番神様も今はもういない。そう云えば、霊園沿いの北側の通りは、昔は御鷹方御組屋敷道、また、霊園と護国寺の間の道を御鷹部屋道とも云っていたんだ。」
 熊 「御鷹部屋にはどんな建物があったんです?」
 隠居 「役人詰め所が1、鷹部屋が8、物置き等4、犬部屋や御犬役所というのもあったらしい。それから鷹なんて呼び捨てにしたら大変だ。御鷹といわなきゃいけなかったんだ。」
 熊 「へえ、おっかねえなあ。で、役人もかなり居たんでしょうね。」
 隠居 「そうだ。まず1千石の鷹匠頭が1人。250俵高の鷹匠組頭2人。そして100俵高の鷹匠16人。ま、ここまでが將軍と顔の合う御目見(おめみえ)以上ということになる。」
 熊 「将校って云うところですね。で、下士官や兵隊は?」
 隠居 「鷹匠見習い6人、50俵高。鷹匠同心50人、30俵2人扶持高。ほかに犬牽(いぬびき)餌差など若干。これが標準配置というところだろうか。」
 熊 「するってえと、総勢80人ほどの大世帯になりますねえ。」
 隠居 「そう。將軍の鷹狩りに備え、常時鷹や鷹狩りの用具などの管理をしていた。鷹狩りは幕府の重要な軍事訓練という面もあったんだ。さてと、墓地でも散歩してくるか。」



●企画・発行
 雑司が谷墓地周辺地区不燃化促進協議会
 財団法人 豊島区街づくり公社
 ☎3981-1111 (内) 2882/ 房野・源田・鈴木
 豊島区都市整備部地域整備課
 ☎3981-1111 (内) 2862/ 黒岩・那須

●編集協力
 (財) 都市防災研究所
 ☎3595-1545/ 小野・曾田

ぞろぞろしがや

訓練しながら 歩け 歩け

ようやく暑い夏も過ぎ、しのぎやすい秋になりました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋……いろいろな秋がありますが、この秋は防災の秋はいかがですか。協議会では、楽しみながら防災訓練ができるように、防災ウォークラリーを企画しました。



守田 喜一
 雑司が谷に暮らしはじめて50年。年をとっても住み続けられるまちをめざします。



長谷川 藤子
 雑司が谷の豊かなみどりを次の世代に残すまちづくりをしたいと思います。



椎名 哲哉
 このまちは今、大きく変わろうとしています。その変化を見守りたいと思います。

みんなで捜そう ・ あの道 ・ この道

雑司が谷防災ウォークラリー

楽しみながら防災訓練

雑司が谷地区のまちを舞台にして、防災ウォークラリーが開催されます。

この防災ウォークラリーは、大地震の時に、自分や家族の身を守り、火災を消し止めることができるように訓練をしながら、家屋やブロック塀の倒壊によって迷路になってしまうまちをくぐり抜けて、目的地に向かうことを、楽しみながらできるように企画されたものです。

協議会の1年以上にわたる計画の上、関連町会や青少年育成委員会のご協力をいただきながら、この10月12日に行われることが決定しました。

街が迷路になる

この防災ウォークラリーは、普通のウォークラリーとは違います。もっとも大きな違いは、歩くコースが決められていないことです。参加者は地区内にある6つの訓練ポイントを順番に廻らなければなりません。どの道を通るかは自由です。ただし、所々にストップ区間（通行止め）が設定されます。ストップ区間にぶつかったら、他の道に廻らなければなりません。どの道が通行止めになるかは当日でないとわかりません。ストップのプラカードを持った人が立つ所と、立て看板で表示する所があります。

まちづくり市民財団の助成金に当選

協議会ではウォークラリーに必要な資金の一部を援助して頂くために、(財)まちづくり市民財団の「まちづくり助成金」に応募していました。

この(財)まちづくり市民財団とは、地域固有の歴史や文化・自然を大切にしたいまちづくりを實踐する市民活動を応援するために設立された財団

で、毎年20数件のまちづくり事業を助成金という形で援助しています。

このたび、全国の多数の応募の中から、この防災ウォークラリーがユニークなイベントであるとの評価を受けて、20万円の助成金を頂くことになりました。



6つの訓練ポイント

地区内にある6つの訓練ポイント（場所は秘密です）では、体や頭を使ういろいろな訓練が参加者を待っています。すべての訓練を受けることによって、大地震から生き延びるための地域や技術が得られます。

安全のための90人のスタッフ

この防災ウォークラリーは、地区内の道路のすべてを使って行います。したがって、交通安全などには十分な注意が必要です。協議会を始め、協力していただくスタッフは総勢90人以上で

す。万に一つも事故のないように、綿密に打合せを行いながら、安全で楽しいイベントにするために、いろいろと検討中です。

どなたでも参加できます

この防災ウォークラリーはどなたでも参加することができます。ご家族やご近所の方と一緒にご参加ください。（ただし、一人では参加できません。2～4人のグループをつくってください。また、小学校2年生以下の子供だけのグループは認められません。保護者が付き添ってください。）

参加できるのは先着50組までです。どうぞふるってご参加ください。

参加のきまり

- 参加者は2～4人のグループとします。（先着50組まで）
- 参加者の年齢は問いません。ただし、小学校2年以下の子供は保護者同伴としてください。
- 申込みは、次の施設に用紙があります。そこで申し込んで下さい。電話でも受け付けます。
雑司が谷児童館 ☎3988-0388
南池袋児童館 ☎3985-5543
豊島区街づくり公社 ☎3981-1111 (内) 2882
- 申込み締切りは10月8日(火)

主催：雑司が谷地区不燃化促進協議会
後援：(財)まちづくり市民財団、豊島区、トヨタ自動車(株)
協力：雑司が谷一丁目東部町会、雑司が谷一丁目町会、雑司が谷二丁目町会、青葉会、光和会、南池袋二三四町会、第4地区青少年育成委員会、豊島消防署、(社)東京都建築士事務所協会豊島支部、東京ガス(株)池袋支店、日本信販信用組合東池袋支店、巢鴨信用金庫東池袋支店

事務局：(財)豊島区街づくり公社
TEL 3981-1111 (内) 2882
担当/房野・源田・鈴木